



発行 佐世保商業高等学校PTA
印刷 石田文晶堂

「卒業記念号」



PTA会長
桐田 康 広

「大海原へ漕ぎ出す 君たちへ」

創立百周年の記念すべき年に卒業を果たされる皆さんに、百年分の賛辞と百年分のおめでとうの言葉を贈ります。入学式から今まで、たゆまぬ努力を積み重ねて手にした実力と一人では決して成し得なかった様々な充実感を今この時に実感してください。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業誠におめでとうございます。心折れる時間もあつたであろう三年間を全うした卒業生に絶賛の拍手をお送りください。そして見事に送り出すことができたご自身にも多くの賛辞を心に留めおいてください。

卒業生の皆さんが生まれた2005年、小泉政権が掲げた革新改革政治のもと郵政民営化がなされました。従前の安定、安心、安全におごることなく新しいチャレンジに成功したことによって人々に「自分たちもできる」と、多数の共感を得て長期にわたる政権を務められました。わが校の校訓「開拓者の精神を発揮すべし」を国政の場においてみたくに思います。語り継がれる風習やことわざには確かな理(ことわり)があり、生命や財産、地域のつながりを守るために大切にされています。しかし、先人が作り上げた地図だけがすべての道ではないのです。皆さんの通った道こそが新たな道となり、ついには私たちを導いてくれる開拓者として活躍している姿を

思い描いています。それは架空の話ではありません。皆さんの明日の姿だと信じています。

ここに書き記すことには少し抵抗もありますが、本年年頭に石川県能登半島を襲った災害は心を痛めるできごとでした。我が国はその昔から災害大国であり、幾多の風水害、地震や津波、火山活動に直面してきました。しかし、その都度「絆」という強いつながりが人々を支え、励まし、克服する力となって立ち直ってきたのです。皆さんも一人ではありませぬ。共に泣き、共に喜び、共に支えあつた仲間が心の中に、いえ、すぐそばで大きく手を開いて待っていていてくれます。それはとてつもなく強い「絆」であり、この上ない宝物にほかならないのです。強い意志と自信をもって未知なる大海原へと船出の時を迎えてください。

もうすぐ春です。葉商坂の桜並木は今年も、来年も、再来年も、永遠に思い出とともに咲き続けることでしょう。皆さんの喜怒哀楽をすべて知り尽くしている桜たちは君たちの成長した姿をあたたく迎えてくれると思いますよ。必ず見せに来てくださいね。

結びとなりましたが、これまでのPTA活動にご理解ご協力を頂きました会員のみなさま、たくさんのご助力を頂きました運営委員のみなさま、丁寧なご助言をいただきました学校職員のみなさまに深く御礼を申し上げます。わたくしのご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。



校長
平山 政 一

「備えあれば患いなし」

3年生の保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。お子様が本校に入学された令和3年を思い起こしますと、新型コロナウイルス感染症が最も深刻化した1年で、本県においても感染者数が1日4千人を上回ったこともありました。そのため、多くの制限がかかるなかでの学校生活を余儀なくされ、生徒はもとより保護者の皆様にも大変ご苦労をおかけいたしました。現在は感染状況が以前より落ち着き、昨年5月には感染症法の5類に引き下げられたこともあり、コロナ以前の生活に戻ることができるようになります。生徒の皆さんにとつて学校生活や部活動、友人との交流を満喫できた1年だったのではないのでしょうか。

大正12年に長崎県初の県立商業高校として誕生した本校は、本年度めでたく創立百周年の節目の年を迎え、予定していた各種記念事業のすべてを実施することができました。11月11日には、県知事様をはじめ約100名のご来賓の皆様のお席のもと記念式典を挙行いたしました。記念式典に続き記念講演会を開催し、ジャパネットたかた創業者で(株)A and Live代表取締役の高田明様より、「夢を持ち続け日々精進」の演題のもとご講演をいただきました。夢や目標を持ち続けることの大切さや、その目標実現に向けて努力することの大切さについて、これまでのご自身の経験をもとにユーモアを交えながらお話しいただき、多くの生徒が高田様のお話に聞き入っていました。また、10月28日におこなわれた記念文化祭では、「いつまでも記憶に残る創立百周年の思い出を在校生に作って欲しい」との

本校同窓会の計らいにより、フィナーレの催しをグラウンドでおこない、打ち上げ花火で締めくくりました。秋の夜空に大輪の花火が咲き誇りとても感動的でした。生徒にとつて忘れられない良き思い出となったこと間違いなしです。ご支援いただきました同窓会の皆様に、心よりお礼申し上げます。

さて、令和6年を迎え2か月が経過しましたが、今年は大変衝撃的な出来事が続いた新年ではなかったでしょうか。元日の夕方、石川県能登半島でマグニチュード7.6の大地震が発生しました。地震やその後の津波の影響により建物や道路が倒壊し、240人もの方々が帰らぬ人となりました。石川県をはじめ北陸地方に大きな損失を与え、国は激甚災害と認定しました。早速、被災された方々に対してできる限りの支援をおこないたいとの思いから本校生徒会が募金活動をはじめ、生徒・職員合わせて一三、八三〇円の義援金を送りさせていただきます。一刻も早い復興を皆さんとともに願いたいと思います。

また、翌2日には、北海道から羽田空港に向かった航空機が、着陸した直後に他の航空機と衝突・炎上し5人の方々が亡くなりました。管制塔から適切な指示が出されていながらもかわからず、なぜこのような事故が発生したのか本当に信じられません。

このような天災・人災はいつ起こるかかわかりませんが、私たちができることは、常に危機意識をもって周知な準備をしていくこと、万一そのような事故等が発生した場合でも、被害を最小限に抑える適切な対応に努めることです。学校においては、教職員による防災組織の編成や対応マニュアルの作成、毎年実施している「防災避難訓練」や毎月の施設設備の「安全点検」を今後も実施し、生徒・教職員が安全で安心して生活できる環境づくりを努めてまいりたいとあらためて強く感じるところです。ご家庭におかれましても、「備えあれば患(うれ)いなし」の言葉のとおり、万が一に備えた周到な準備をお心掛けください。



おめでとう

in your graduation

- これから自分の道を切り拓いていく中で、常に誠実さと思いやりを忘れずに。また自分らしくあり続けてください。どんな時も、私たちがあなたを支えています。何か困ったことや悩みがあれば、いつでも帰ってきていいからね。
- 卒業おめでとう。私たちはいつでもあなたの味方であり、応援していることを忘れないでください。夢に向かって、自信を持って進んでいってください。
- 3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今までの学びや経験は、あなたたちの人生の貴重な宝物となることでしょう。これからの未来は、新たな冒険や挑戦の旅が待っています。その道のりには、喜びや成功だけでなく、時には試練や困難もあるかもしれません。しかし、その全てが君の成長の糧となることを忘れないでください。
- コロナ禍で暗い学校生活ばかりでしたが、未来に向けて進む君には、きっと明るい未来が待っています。勇気を持って新しい道に踏み出してください。そしてどんなことがあっても、君のそばには家族がいることを忘れないでください。私たちはいつも君の味方であり、支えとなることを約束します。

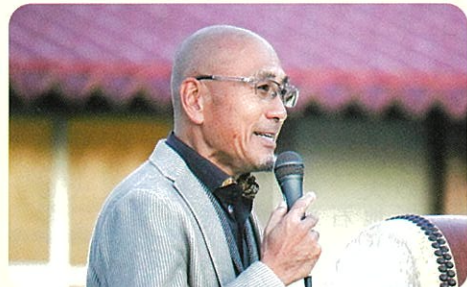
立
年記念

20th
High School
Anniversary

百年
新時代へ

10月27日・28日、100周年記念文化祭が行われました。数年ぶりに一般観覧も再開し、にぎやかな文化祭となりました。記念すべき100周年ということで、文化祭の後には後夜祭が開催され、同窓会の皆様のご協力により盛大に花火が打ち上げられました。まさしく100周年にふさわしい花を夜空に添えていただきました。

百周年記念文化祭





保護者からお祝いのことば

- 卒業おめでとうございます。新しい世界でも存分に力を発揮してください。
- おめでとう！とうとう卒業の日がやってきました。この日を迎えるまで、たくさんの努力をしてきましたね。君の成長を見ることができて、本当に誇りに思っています。
- 卒業おめでとう！これからの未来は、さらなる挑戦と新たな出会いが待っています。自分の夢や目標を追い求める中で、失敗や困難に直面することもあるかもしれませんが、しかし、そんな時こそ、自分を信じて前に進んでいってください。何事も諦めずに努力し、信念を持って行動すれば、必ず道は開けます。
- 卒業おめでとうございます。友達や家族、そして先生たちに支えられて、今日があります。彼らの温かい言葉や助けを忘れずに、感謝の気持ちを忘れないでください。



百周年記念式典

11月11日、佐世保商業高校創立百周年記念式典が行われました。記念すべき100年という節目の年に、佐世保商業高校に関わることができて光栄でした。これからもますます発展していくことでしょう！



創
100周

100

Sasebo Commercial
100th Ann

葉商

時を超え、

PTA奉仕活動



10月14日、本校においてPTA奉仕活動を行いました。今回は本校敷地内の除草作業ということで、多くの保護者の皆様や部活動に参加をしていただきました。葉商坂やグラウンドなど生い茂った草をきれいに刈っていただき、100周年記念式典や記念文化祭を美しい佐商で迎えることができました。ご協力していただいた保護者の皆様、部活動の皆様ありがとうございました。

マラソン大会



11月21日、相浦総合陸上競技場においてマラソン大会が行われました。天候にも恵まれ、元気よくスタートを切ることができました。懸命にゴールを目指して走っている子どもたちの姿を見ると、応援にも力が入りました。また走った後に子どもたちにパンと飲み物を渡すと、一人ひとりが「ありがとうございます!」と爽やかにお礼を言ってくれて、こちらもうすがすがしい気持ちになりました。本当に佐商生は素直ですね。これからも感謝の気持ちを忘れず、何にでも全力で取り組む姿を見せてください!



結果発表

男子	① 島田 朋弥	② 長嶋 渉	③ 升水 恋
女子1年	① 松下 百花	② 戸田茉莉奈	③ 西山 瑠奈
女子2年	① 中村 莉緒	② 鴨川 愛那	③ 神田 優里
女子3年	① 坂本留悠嘉	② 島本 真帆	③ 吉原 愛弥

PTA研修旅行

鎮西学院大学



10月2日、PTA研修旅行に行つてまいりました。最初に鎮西学院大学を訪問しました。キャンパス内は美しい欧州風の建物が立ち並んでおり、まるで外国を訪れたようでした。佐世保商業の卒業生に、大学の概要の説明やキャンパスライフをお話していただきました。お昼は大学で学食をいただき、ほんのひとときだけでも学生時代に戻った気がしました。午後は愛野町にある「長崎カステラランド」を訪問しました。カステラができる工程を間近で見学し、その後は買い物を楽しみました。天候にも恵まれ、充実した一日を過ごすことができました。参加していただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

文化祭バザー



10月28日、文化祭においてPTAバザーを行いました。コロナ禍もあり、PTAバザーとしては4年ぶりの実施ということで、わからない点多々ありましたが、PTA会員の皆様のお知恵をお借りしながら、準備を進めてきました。今回はカレーライスとキーマカレー、ナンを販売しました。どれもあつという間に完売しました。子どもたちがおいしそうに食べている姿を見ていると、私たちがバザーをしてよかったと心から思いました。隣では佐商100周年記念タオルも販売し、こちらも好評でした。

各種表彰

表彰名	クラス	氏名
長崎県高等学校体育連盟表彰	3-3	坂本留悠嘉
長崎県高等学校文化連盟卒業生顕彰	3-3	浦 萌 華
産業教育振興中央会表彰	3-4	中村理乃
優良卒業児童生徒表彰	3-4	桐田真子
家庭クラブ員功労者表彰	3-3	金子芽生
学校長表彰	3-1	長嶋 渉

表彰名	クラス	氏名
外国語シニアマスター賞表彰	3-5	近藤由奈
全商協会卒業生成績優秀者表彰	3-1	田代なぎさ
皆勤賞	19名	
全商3種目以上1級合格者表彰	5冠 3名 4冠 5名 3冠 14名	
ビジネスマイスター長崎	54名(ゴールド23名 シルバー42名 ブロンズ54名)	